



建築技術性能証明書

技術名称：Ω-Pro 工法
一回転貫入ぐい工法

申込者：株式会社設計室ソイル 代表取締役社長 高田 徹
東京都中央区日本橋 3 丁目 3-12 E-1 ビル 4 階
アキュテック株式会社 代表取締役社長 岩本 啓介
石川県金沢市玉鉾 4 丁目 73 番地
伊田テクノス株式会社 代表取締役社長 檜崎 亘
埼玉県東松山市松本町 2 丁目 1 番 1 号
新協地水株式会社 代表取締役 佐藤 正基
福島県郡山市上伊豆島一丁目 27 番地
株式会社アースリレーションズ 代表取締役会長 新松 正博
東京都台東区寿 3-15-15 蔵前ミハマビル 5F

技術概要：本技術は、鋼管の先端に先端翼部（掘削刃、軸部および傘形状に傾斜したスパイラル状の翼部を一体成形した鋳鋼品）を溶接接合して地盤中に回転貫入させ、これをぐいとして利用する工法である。

なお、本工法の地盤から定まる押込み方向の鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0710～0714、および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-25-381A-017～021 を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたいの地盤から定まる引抜き方向の鉛直支持力に関するものである。

開発趣旨：従来の先端翼付き鋼管を用いた回転貫入ぐいの先端翼部は、翼形状の鋼板と鋼管を溶接接合等により加工するので、複雑な形状とすることは困難であったが、本工法では先端翼部を独自形状の一体成形の鋳鋼品とすることで、機能上必要な先端翼部形状を実現している。これにより、施工性能（掘削刃による排土性能、スパイラル翼上部形状による掘進性能）を向上させている。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2026 年 3 月 16 日

一般財団法人 日本建築総合試験所

理事長 川瀬 博

記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および引抜き試験の立会確認により性能証明を行った。

資料 1：Ω-Pro 工法 性能証明のための説明資料

資料 2：Ω-Pro 工法 設計指針

資料 3：Ω-Pro 工法 施工指針

資料 4：引抜き試験資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本工法の設計指針であり、支持力算定式などの設計方法が示されている。

資料 3 は、本工法の施工指針であり、施工方法および施工管理方法が示されている。

資料 4 には、資料 1 で用いた個々の引抜き試験結果報告書や立会引抜き試験報告書などが取りまとめられている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、単ぐいとしての引抜き方向の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「Ω-Pro 工法 設計指針」および「Ω-Pro 工法 施工指針」に従って設計・施工された先端翼付き鋼管ぐいの短期荷重に対する引抜き方向の支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同設計指針に定める標準貫入試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。